

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度 第2回 図書館協議会	
開催日時	令和7年2月12日（水）午前10時から11時15分	
開催場所	朝霞市立図書館本館 視聴覚室	
出席者及び欠席者の職・氏名	<p>出席者 委員6名 有永克司副会長、三好正浩委員、鈴木恭子委員、久住毅委員、石川敬史委員、駒牧容子委員</p> <p>事務局6名 奥山生涯学習部長、増田図書館長、深谷主幹兼館長補佐兼北朝霞分館長、齊藤館長補佐、猪股図書館サービス係長、早川庶務係長</p> <p>欠席者 委員1名 茂木静枝会長</p>	
議題	<p>議 題</p> <p>議題（1）報告事項 ア 令和6年度中間利用状況（4～12月末）について イ 令和6年度中間事業報告（4～12月末）について</p> <p>議題（2）協議事項 ア 令和7年度事業計画（案）について</p> <p>議題（3）その他</p>	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回朝霞市立図書館協議会 次第 ・令和6年度第2回朝霞市立図書館協議会次第 ・令和6年度中間利用状況（4月～12月末）（資料1） ・令和6年度中間事業報告（4月～12月末）（資料2） ・令和7年度事業計画（案）（資料3） 	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 出席委員による確認		
傍聴者の数	0名	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【議事】

早川庶務係長

会長欠席のため、規則により副会長に議長をお願いします。

有永副会長

それでは議題に入ります。議題（１）アについて事務局より説明をお願いします。

猪股図書館サービス係長

はじめに、報告事項の資料でございますが、１２月末で作成しております。

それでは、報告事項１点目の「令和６年度中間利用状況（４月～１２月末）について」御報告いたします。資料１を御覧ください。

「令和６年度 図書館利用状況」表の１つ目「貸出人数」を御覧ください。WEBを含め、図書館本館が１１９，６９２人、分館が４６，１３８人、公民館は５館合わせて１９，６５３人、合計１８５，４８３人、前年度比９７．８％、４，１５１人の減となっております。

次に「貸出点数」は、WEBを含め、図書館本館が３５２，１７４点、分館が１５９，２２８点、公民館が計５９，４４８点、合計５７，８５０点、前年度比９６．４％、２１，４３８点の減となっております。

次に、裏面を御覧ください。「登録者数」は、図書館本館が１，８０３人、分館が５８１人、公民館が計１３３人、合計２，５１７人、前年度比９３．２％、１８５人の減となっております。

次の「予約点数」は、WEBを含め、図書館本館が１１０，０２７点、分館が６，８３１点、公民館が計１，８０７点、合計１２６，７０６点で、前年度比９９．５％、５８６点の減となっております。

次のページに移り、「開館日」を御覧ください。図書館本館が２４４日、分館が２４５日、公民館が計９９３日、合計１，４８２日で、前年度比９６．９％、４８日の減となっております。なお、北朝霞公民館が１１月１日からこの３月末まで空調工事のため休館となっております。

次の「実来館者数」は、図書館本館のみとなりますが、令和６年度は、１９６，１１３人、前年比９８．７％、２，５３４人の減となっております。

次の「電子図書館サービス」の利用状況ですが、貸出回数３，４７９回、前年度比６９．０％、閲覧回数１１，８３２回、前年度比７９．９％となっております。

令和６年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の５類移行を受け、ほぼ規制はない状況に戻して事業をとっています。貸出、予約など図書館の利用がやや減少している点につきましては、娯楽の多様化とメディアの多様化などが要因の一つではないかと推測しております。

以上が、令和６年度の１２月末までの利用状況でございます。

有永副会長

ただいま事務局から説明がありましたが、何か意見や質問はありますか。

鈴木委員

公民館の空調工事による休館で来館者数が減少するのは理解できますが、電子図書館の貸出が減少しているのは何故なのでしょう。

猪股図書館サービス係長

電子図書館は令和４年度から開始しており、利用が一段落してしまったところがあるのかもしれませんが。また、この統計に載せていないのですが、電子図書館では電子雑誌の閲覧サービスも実施しており、こちらは利用が伸びております。このことが貸出に影響している部分があるのかもしれませんが。

有永副会長

この統計には、電子雑誌の閲覧数については反映していないということですか。

猪股図書館サービス係長

電子書籍の貸出数のみをお示ししております。

石川委員

まず1点目、電子図書館について、この存在が利用者に届いているのか、ということが気になりました。本来であれば、電子図書館の利用は伸びていてよいのではないかと思います。どのようなコンテンツがあるのか、非来館者に対してどのように広報しているか、気になりました。

2点目に、中高生の利用が減っているのではないかと、思うので年齢別の統計を示していただきたい。また、図書館の主な利用者層はどのような年代の人が多くと把握されていますか。

3点目は、公民館図書室についてです。気軽に行ける公民館図書室は、利用が少ないものの、自治体サービスの場として意味があると考えます。この点、図書館としてはどのように評価されているのか、お聞かせください。

猪股図書館サービス係長

電子図書館の広報につきましては、市の広報紙や図書館のホームページで周知を行っていますが、まだPR不足な面があるかと思えます。またコンテンツにつきましては、職員の方で電子でしか提供できない資料なども用意しているところですが、なかなか非来館者の方に認識いただけていないのかな、と感じているところです。

有永副会長

電子書籍の新しいコンテンツの紹介はしているのですか。

齊藤館長補佐

新しいコンテンツは電子図書館ホームページのトップページで紹介しています。また、図書館まつりなどのイベントの際には、電子図書館のPRを実施しています。

増田図書館長

主な利用者層についてですが、貸出などの数字に表れるものとは別に、来館されている方々を実際に見ておりますと平日午前中は高齢者や乳幼児の親子連れが多く、午後になると学校を終えた中高生が来館されており、幅広い年齢層に御来館いただいているという印象です。

猪股図書館サービス係長

年齢別の利用統計ですが、令和5年度の本館の貸出点数の実績となります。0～6歳が54,359点、7～12歳が65,572点、13～15歳が8,057点、16～18歳が4,558点で、以上が中高生までの統計となります。参考までに19～22歳が5,335点、23～29歳が約11,832点、30～39歳が58,080点、40～49歳が87,821点、50～59歳が69,170点、60歳以上が123,966点で、合計が488,750点となります。

齊藤館長補佐

公民館図書室に関してですが、公民館各館の実情に合わせて、各館独自に選書を行っています。また、物流のネットワークにより資料の行き来、リクエスト本の受取など利便性を図っています。

有永副会長

それでは引き続き議題（1）イについて事務局より説明をお願いします。

猪股図書館サービス係長

報告事項2点目のイ「令和6年度中間事業報告（4月～12月末）」について、御報告いたします。資料2を御覧ください。

令和6年度の事業につきましては、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、ほぼ規制をなくして行っております。

「覗いてみよう ちはやふるの世界」につきましては、朝霞かるた会の協力をいただき、「百人一首」かるたの体験をしていただきました。定員20人のところ14人の参加がありました。なお、今まで一般対象事業として、「大人の朗読会」を継続実施してきましたが、本年度は事業内容を見直し実施したものとなっています。

次の「青少年対象講座」は、青少年に図書館利用のきっかけと、本に親しむ機会を提供することを目的に行っております。12月15日、日曜日に「キャラクターを描こう！～顔と表情の描き方～」と題し、昨年度に引き続き、講師に根本聡美氏をお招きし、イラストの作画技法と絵を描く職業をテーマに開催しました。本年度も28人の参加があり、好評のうちに終了することができました。

次の児童文化講座では、講師に朝日仁美氏をお招きし、読書離れ等にある環境の中での子ども読書推進のあり方についてお話ししていただく内容といたしました。

次の「プレママ・パパ絵本講座」は、赤ちゃんがお腹にいる時から話しかけ、読み聞かせを行うことで、親子のきずなを深めていくこと、また読み聞かせの楽しさや大切さを、実演を交えながら伝えていくことを目的に開催しており、第2回を昨日2月11日に開催しました。

この講座は、後の「ブックスタート」や「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」につながっていくように企画しております。

次の「ブックスタート」事業は、保健センターで毎月実施される乳幼児の4ヶ月健診時に、メッセージを伝えながら「ブックスタートパック」として、絵本をプレゼントし、絵本を通した親子のふれあいの楽しさ、大切さをお伝えするとともに、図書館をPRしています。今年度から絵本の読み聞かせを再開し、12月末までに18回実施し、790組の参加がございました。

次の「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」は、ブックスタート後のフォローアップを目的に赤ちゃんが保護者と一緒に読み聞かせやわらべ歌などを体験する事業です。12月末現在、16回実施し、75組延べ166人の参加がございました。

次のページの「うさみみタイム」は、毎週木曜日、児童・幼児を対象に、職員による絵本の読み聞かせや紙芝居を行っているものです。35回実施し、延べ335人の参加がございました。

このほか、4月23日～5月12日の子ども読書週間の4月20日に実施した「おはなし会」に延べ33人、4月27日に実施した「映画会」に延べ30人の参加がございました。

また、夏休み期間中の7月25日の「夏休みおはなし会」には、延べ37人、8月22日の「夏休み映画会」には、延べ33人、12月14日の「クリスマスおはなし会」のは、67人の参加がございました。

次に、一般向け映画会「シネマ・ライブラリー」は、偶数月の日曜、午後2時から上映し、4回、延べ80人の参加がございました。

次のページ、「図書館まつり」と「らいぶらりコンサート」は、実行委員会が中心となり開催するもので、「図書館まつり」は6月24日、25日の2日間で延べ2,086人、「らいぶらりコンサート」は5月28日に開催し、延べ136人の参加がございました。

次に「本の福袋」は、包装してタイトルも内容も分からないようにした本を貸出すことで、楽しみながら読書内容の幅を広げてもらう企画で、1月5日から1月15日まで延長して実施いたしました。

次の「書庫見学ツアー」は、図書館や図書館業務の解説と、書庫の見学をしていただくもので、夏休みの7月26日午前に小学生、午後の中・高校生、一般成人向けに2月4日に実施いたしました。

最後に、「図書館利用者懇談会」は、7月13日、土曜日に開催、4人の方の参加がありました。以上が本館の報告となります。

深谷主幹兼館長補佐兼北朝霞分館長

それでは北朝霞分館の報告をいたします。まず「えんじょいきっず」は、小学3年生から6年生の児童に、図書館の仕事を体験することで、本に興味を持ってもらうことを目的に、例年夏休み期間中に実施しており、令和6年度は8月の4日間で延べ17人の児童に御参加いただきました。

次に、大人向け映画会「名画THE分館」は、8月18日、日曜日に「E.T」を上映し、16人にご参加いただきました。

次に、子ども向け映画会「キッズシネマ」は、10月14日スポーツの日に「のっぺらぼう」「ぶんぶく茶釜」等短編を上映し、61人にご参加をいただきました。

最後に、「絵本の読み聞かせ」は、毎月第3火曜日に、ボランティアグループの「おはなしの木」の皆さんの御協力で開催しており、4月から10月は午後3時30分から、11月から3月は午後3時からを開始時間としております。先着30人の事前申込制で9回実施し、延べ200人の方に御参加いただきました。分館の報告は以上でございます。

有永副会長

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御意見や質問はありますでしょうか。

それでは、利用者懇談会について、非常に重要な企画なのですが、毎年参加者が少なく残念です。PRも必要ですが、意見交換だけではなく、図書館の紹介や事業報告、質疑応答をするなど、内容の見直しが必要ではないでしょうか。また、北朝霞分館でも実施した方がよいと考えますが、いかがですか。

増田図書館長

図書館の利用者懇談会に限らず、他の部署においても市民参加のミーティングについては、開催する曜日や時間帯を皆さんの参加しやすいものに設定しても参加者が少ない、というのが全体的な傾向です。今後につきましては、御提案いただいた内容も含め、ほかのイベントに絡めて実施できるか等、検討してまいりたいと思います。また北朝霞分館での開催につきましても開催スペースの関係などもございますので、検討させていただきたいと思います。

鈴木委員

書庫見学ツアーなのですが、参加者の区分が小学生、中高生、成人となっており、中高生の参加者が0人となっています。中高生は部活などで多忙で、なかなか参加は難しいと思います。そこで、参加者の区分を、小学生と中学生以上成人、の二つにした方がよいと思うのですが、そういった検討はしていますか。それから周知方法についてですが、この書庫見学ツアーについて、私は広報あさかで知ったのですが、生徒さんたちへの周知はどのようにしていますか。また、生徒さんたちの現状について、学校関係の委員の方にお聞きしたいです。

齊藤館長補佐

書庫見学ツアーの参加者につきましては、中高生の申込みはあったのですが、当日キャンセルとなった経緯がございます。参加者区分につきましては、今後、検討させていただきます。

学校へのPRにつきましてはポスター、チラシの配布を依頼しております。今後SNSを活用してのPRも検討して参ります。

駒牧委員

書庫見学ツアーの成人の部の参加者数を教えてください。

猪股図書館サービス係長

2月4日に実施しました書庫見学ツアーの成人の部の参加者数は19人です。

駒牧委員

書庫見学ツアーについては、ぜひ中高生の参加が増えるよう、創意工夫することを要望します。ブックスタートについてですが、保健センターで行われている乳幼児健診へ出向いて行っているのですか。

齊藤館長補佐

その通りです。単に絵本をお渡しするだけでなく、実際に読み聞かせや、読書の意義などについてお話しています。4か月検診時に行っており、ほぼ全組、9割以上のお子さんにお渡しできております。

有永副会長

ブックスタート時に図書館の利用カード登録を行っては。

齊藤館長補佐

ブックスタートの会場が図書館ではないため登録は難しいのですが、ブックスタート後に行っている「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」という事業で登録を行っています。

三好委員

小学校なのですが、催事のポスター、チラシについては、依頼をいただければ図書室等に設置を行っています。しかしながら、私の学校は北朝霞地区であり、書庫見学ツアーは夏休み期間中であるため、児童だけで参加するのは難しいと思います。ただ、書庫というのはなかなか見ることとはできないので、御依頼をいただければ、司書を通じてPRしたいと思います。

久住委員

高校ですけれども、書庫見学ツアーについてはニーズがどうかな、という感があります。ただ、成人と一緒に行くことについては、高校生には抵抗はないと思います。また、高校生が市立図書館に関心がないか、といえばそうではなく、ありがたいことに本校で図書館の蔵書を検索して取り寄せることができますし、学校帰りに図書館に寄って必要な図書をピックアップして帰ることもできることから、生徒たちは市立図書館を念頭においていると思います。

石川委員

コメントになるのですが、利用者懇談会について、朝霞の図書館は図書館業界では大変優れた建築物であり、さまざまな住民の皆さんの思いがこもった施設です。最近は図書館建築についての本や写真集も多く出ていますし、講師の方を招いて、朝霞の図書館の全国的な位置づけについて講演や座談会といった催事の中で懇談会を行えたら、と思いました。それから青少年講座についてですが、チラシの配布依頼をいただきまして授業で配ったところ、女子大生に大変にヒットしました。こういったサブカルチャー系の切り口で行うことは、なかなか面白いな、と思ったところです。

有永副会長

それでは引き続き議題（2）協議事項アについて事務局より説明をお願いします。

猪股図書館サービス係長

それでは、（2）協議事項のア「令和7年度図書館事業計画（案）について」御説明いたします。資料3を御覧ください。一般成人向け講座、青少年対象講座については各1回の実施を予定しています。

次の児童関係事業は、「児童文化講座」を年1回、「プレママ・パパ読み聞かせ講座」を年間2回、「ブックスタート」事業を毎月2回、年間24回、「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」を月1回、年間12回、「うさみみタイム」は、読み聞かせを毎週木曜日の午後実施予定でございます。次のページを御覧ください。子ども読書週間に「おたのしみおはなし会」、「おたのしみ

映画会」を各1回、夏休み期間中に「夏休みおはなし会」、「こども映画会」を各1回、12月に「クリスマスおはなし会」を予定しています。

続いて、「シネマ・ライブラリー」は、偶数月の土曜または日曜日に年間計6回、「図書館まつり」は、6月28・29日の土・日に、「らいぶらりコンサート」は5月25日の日曜日に開催する予定でございます。

「書庫見学ツアー」は、夏休み期間中に小学生、中・高生を対象に、いずれかの休館日に一般成人向けに開催する予定です。

また、「本の福袋」、「利用者懇談会」につきましても、例年通り実施する予定です。本館については以上となります。

深谷主幹兼館長補佐兼北朝霞分館長

続きまして、北朝霞分館の令和7年度事業計画（案）でございます。令和7年度は、令和6年度と同様の事業を計画しております。

「えんじょいきっず」は、夏休み期間中の7月から8月の4日間、16名の募集を予定しております。

次に、一般向けの映画会の「名画THE分館」は、8月17日、日曜日を予定しております。

子ども向けの映画会の「キッズシネマ」は、10月13日、スポーツの日で祝日となる月曜日の実施を予定しております。

「絵本の読み聞かせ」は、令和6年度と同様に、毎月第3火曜日に実施を予定しております。以上でございます。

有永副会長

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御意見や質問はありますでしょうか。

鈴木委員

ブックスタートについてですが、本は何冊配布するのか、毎年同じ本を配布しているのか、その選書はどのように行っているのか、また、双子さんについてはどのようにしているのかを伺いたいのですが。

齊藤館長補佐

配布はお子さん一人に一冊で、配布する本は毎年変えています。これらは「NPO法人ブックスタート」から購入しており、かなり厳しい選書基準で選ばれたものの中から購入しています。また、双子のお子さんへの対応ですが、一冊は前年度以前に配布した本の余剰の中からお渡しするなど、同じ本を2冊お渡しすることのないようにしております。

有永副会長

講座の内容についてですが、図書館は高齢者の利用者が多いこともあるのでシニア向けの講座があればいいな、と思うのですが。他の図書館では脳トレ、認知症予防、断捨離、スマホ講座などの実績があるようですが、いかがでしょうか。

増田図書館長

利用者の中で、高齢者が高い比率を占めているのは把握しております。今年度におきましては、図書館内で高齢者関連部署が認知症についての展示を行った際、関連書籍を置くなどのコラボレーションを行いました。今後につきましては、こういった他部署との協力も含め、検討させていただきたいと思っております。

有永副会長

それでは引き続き議題（3）その他について事務局より説明をお願いします。

増田図書館長

それでは、本日配付いたしました資料を御覧ください。

市では現在、令和8年度からはじまる第6次朝霞市総合計画の策定に向け、市民懇談会等により御意見を集めているところです。

当協議会においても、本日、配付いたしました体系図等の素案を参考に、御意見など頂戴いただければと考えております。

総合計画は市の最上位計画となり、図書館サービス基本計画や子ども読書活動推進計画も関連するものとなっております。現在の素案で図書館が関連する箇所といたしましては、第3章「教育文化」の、大柱2「生涯学習」、中柱1「生涯にわたる学びの推進」と中柱2「学びを支える環境の充実」が主なものとなっております。

5期計画からの主な変更点といたしましては、資料3ページの①学習活動の支援・充実の中段あたりに記載されていますように、通信機器の普及・デジタル化への対応について新たに追加をしております。

成果指標につきましては、公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者数の総数と、図書館の利用者満足度は引き続きの採用となっております。

本日この場でなくても、御意見がある場合は、お電話やメール等で図書館に御連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

有永副会長

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御意見や質問はありますでしょうか。

石川委員

コメントになりますが、まず「司書や学芸員などの専門職を配置し」という記述があるので、ぜひ、このまま明記してほしいと思います。

次に公共図書館におけるコレクションの構築について、これを総合計画に載せることは難しいと思いますが、図書館は地域の文化・芸術政策の中で位置づけられていることから、地域の市民方が生み出した資料、文集やミニコミ誌などの一般流通に乗らない資料についてデジタル・アーカイブ等で保存することを含む大局的な視点も求められるのではないかと、思います。

もう1点、子ども読書活動推進活動の観点からみると、小中学校図書館の整備、つまり蔵書数や学校司書の勤務条件の整備が非常に重要になってくると、思います。

有永副会長

地域の資料というのは重要であり、今後、これらのデジタル・アーカイブ化を考えてほしいと思います。

市政モニターアンケートで、図書館の学習席が少ないという意見がありました。現在は利用のない際に展示集会室を開放していますが、この視聴覚室も同様に開放してはどうでしょうか。

もう1点、レファレンス・サービスについて、司書が調べものの手伝いをする、ということをもっとPRした方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

増田図書館長

展示集会室のほかに館内で予約を必要としない座席も用意しているところですが、土日や祝日は埋まってしまうことが多く、学習席が少ないという声はいただいております。この視聴覚室の開放につきましては、閉鎖性があることから施設管理上難しい部分もありますので、慎重に検討させていただきたいと思います。

図書館としても極力座席の提供は心がけているところですが、隣の中央公民館の図書室や空き室を開放する動きもあり、市全体としてそういった場を提供できるように検討したいと思っております。

レファレンスについてですが、現在の当館において、正直弱い部分であるという実感はあります。ただ、レファレンスは司書資格があればできる、というのではなく、経験値によってサービスに差が出るものであり、人材確保・育成が重要であると考えております。当館の現状を申し

ますと、年度途中退職者や病気休暇中の職員がおり、厳しい部分もありますが、良いサービスが提供できるよう検討してまいります。またPRにつきましても、レファレンス・サービスを御存じない方もいると思われ、その必要性は感じているところですので、今後、よい方向へ向かうようにしていきたいと考えております。

奥山生涯学習部長

先ほど館長が申しあげました学習席について補足させていただきます。隣の中央公民館がこの9月から大規模改修工事に入ります。その際、既存の図書室を学習スペースとして開放できるよう改修する予定です。図書館と中央公民館は隣り合っておりますので、連携し、補い合って運営していければ、と考えております。

有永副会長

レファレンス・サービスについては、質問と回答を公開したり、メールで受付している館もあるようですので、ぜひその辺も検討していただければと思います。

特にほかはないようであれば、これで本日提案された事項については、すべて承認することとし、以上で本日の議事はすべて終了いたします。皆様の御協力に感謝を申し上げ、議長の座を下ささせていただきます。ありがとうございました。

早川庶務係長

有永副会長、ありがとうございました。

さて、来年度、令和7年度についてですが、「第4次朝霞市立図書館サービス基本計画」及び「第4次朝霞市子ども読書活動推進計画」策定の年度に当たっているため、この協議会の開催回数も例年2回のところ4回とさせていただく予定となっております。開催時期につきましては、5月、8月、10月、2月を予定しておりますが、詳細につきましては、改めて御連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして「令和6年度 第2回 朝霞市立図書館協議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。